

平成 16 年度レギュラトリーサイエンス部会第 1 回常任世話人会議事メモ(記録者 合田幸広)

日 時: 平成 16 年 6 月 23 日(水)11:00 ~ 13:00

場 所: 国立医薬品食品衛生研究所第一会議室

出席者: 長尾 拓(部会長、世話人代表)、早川堯夫、井上 達(新)、豊島 聰、黒川達夫(新)、奥田秀毅、西村憲治(新)、白神 誠、宮田直樹、津谷喜一郎(新)、西島正弘、米谷民雄、奥田晴宏(新)、合田幸広

欠席者: 小嶋茂雄

配付資料

議事次第

平成 15 年度常任世話人会議事要旨

第 1 回医薬品レギュラトリーサイエンスフォーラム案内

第 2 回食品安全フォーラム案内

医療機器フォーラム案内(H16)

バイオリジクスフォーラム案内(H16,17)

常任世話人名簿

議事

1. H15 年度の活動報告

主催した学術集会

食品安全フォーラム「食品安全に向けたレギュラトリーサイエンス」についてフォーラム実行委員長である米谷世話人より報告があった。

共催した学術集会

- ・医療機器フォーラム設立記念シンポジウム「21世紀の医療機器 Tissue Engineering - 開発と評価」、医薬品品質フォーラムシンポジウム「日本における品質保証の課題 製剤設計と変更管理・CTD申請」について、バイオリジクスフォーラムシンポジウム「バイオリジクス:その科学的規制の展望」について、合田が資料に基づき報告を行った。
- ・東京大学経済学部で2003年7月5日に行われた(財)薬学振興会(文部科学省所轄)の主催、東大薬学部共催の、シンポジウム「レギュラトリーサイエンスの発展:官・学・産のフォーラムを目指して」を、当部会が後援していると津谷世話人より指摘があった。

薬学会年会での活動

- ・特別講演「国際化時代におけるバイオ創薬推進とレギュラトリーサイエンス」、ミニシンポジウム「医薬品分野における国際調和ーいま私達はどこにいて、どこへ行こうとしているのか」、ミニシンポジウム「国際化時代における食に関わる化学物質と安全性」について、合田が資料に基づき報告を行った。

2. H15 年度会計報告

- ・合田が、資料に基づき報告を行った。

3.H16 年度活動予定

学術集会活動

・第1回医薬品レギュラトリーサイエンスフォーラムが、平成16年10月29日(金)、国立医薬品食品衛生研究所講堂で10:00~17:20に開催される事及び、その準備状況について資料に基づき合田及び白神世話人が報告を行った。また、本件に関し、白神世話人より、慶応大の谷川原先生の「今後のPharmacovigilance プランニング」が、先生のご都合で、中止になったとの報告があった。また、もう少し、人数が入る場所が良いのではとの意見があり、薬学会館、共立薬大等の場所も検討することになった。

・第2回食品安全フォーラムについて、米谷世話人より、平成16年12月7日(火)、薬学会館で13:00~17:00に開催される事及びその準備状況について資料に基づき報告があった。

・今年度の医薬品品質フォーラムについて奥田世話人、今年度及び来年度のバイオリジクスフォーラムについて早川世話人、今年度の医療機器フォーラムについて合田より、資料に基づき報告があった。

ホームページの立ち上げ

・奥田世話人より、全体の構想について説明があった。

薬学会年会での活動

・本年度の、薬学会のシンポジウムについて、西村世話人が責任者として、部会長、奥田世話人と相談のもと、シンポジウム名・講演予定者当の概要を決定し、薬学会に応募することとされた。(応募期限7月末)

4.H17 年度の活動予定

主催学術集会の代表世話人の依頼等

・第2回医薬品レギュラトリーサイエンスフォーラムについては、豊島世話人が責任者(実行委員長)として、開催計画書を作成し、長尾部会長に提出することとされた。(提出期限は8月末)

・第3回食品安全フォーラムについては、井上世話人が責任者(実行委員長)として、開催計画書を作成し、長尾部会長に提出することとされた。(提出期限は8月末)

・長尾部会長が、上記両フォーラムの学術集会補助金について薬学会理事と話し合い、それに基づいて補助金を実行委員長が申請することとされた。

その他

・共催学術集会については、必要であれば平成17年度も補助金を部会交付金より交付することとされた。

・上記、学術集会の開催等にあたり、部会の世話人の追加が必要であれば、追加をしていくことが確認された。